

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)		授業形式					
E113B003		保育の指導Ⅱ（人間関係） (Method of Infant Education Ⅱ)							対面					
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	主に使用する言語	その他に使用する言語	担当形態						
選択必修	2	2（R5入学生 以前は3年）	教育学部	前期		日本語		単独						
担当教員	氏名 向井 隆久													
	E-mail tmukai@oita-u.ac.jp 内線 7557													
授業の概要	領域「人間関係」は「他の人々と親しみ、支え合って生活するために、自立心を育て、人と関わる力を養う」ことを目指すものである。本講義では、幼稚園教育において育みたい資質・能力について理解し、幼稚園教育要領に示された領域「人間関係」のねらい及び内容について理解を深めるとともに、幼児の発達に基づいた主体的・自発的な活動が生まれる具体的な場面を想定した保育を構想し、振り返りを通した保育を改善する視点を身につける。													
具体的な到達目標							DP等の対応(別表参照)	1	2	3	4	5	6	7
目標1	幼稚園教育の基本と領域「人間関係」のねらい及び内容について説明できる。							○						
目標2	幼児の生活と遊びの特性を踏まえ、発達の見通しをもった保育を構想し意見交流することができる。								○					
目標3	保育の実践事例をもとに、指導上の留意点を明確にしながら、教材研究することができる。										○			
目標4	領域「人間関係」の特性を踏まえ、保育計画を立案・実施し、振り返りを通して保育を改善する視点を身につけ活用できる。									○				
目標5														
目標6														
目標7														
目標8														
目標9														
目標10														
各DPへの関連度（計10）								2	3	3	2			
授業の内容														
1 幼児教育の基本的な在り方と課題														
2 領域「人間関係」におけるねらい及び内容 ～基本的な理解と各領域間の関連～														
3 乳幼児期の発達と人間関係（0歳児から3歳未満児）														
4 乳幼児期の発達と人間関係（3、4、5歳児）														
5 遊びのなかで育つ人間関係（事例検討）														
6 特別な支援を必要とする子どもと他の子どもがともに育ち合うためのかわり														
7 保育者と保護者の人間関係														
8 保育の実践事例に学ぶ（1）保育場面の観察テーマを決定する														
9 保育の実践事例に学ぶ（2）保育場面を観察する（情報機器及び教材の活用を含む）														
10 保育の実践事例に学ぶ（3）保育場面を分析し、発表する（情報機器及び教材の活用を含む）														
11 保育計画の立案（1）3歳未満児														
12 模擬保育の実施と相互評価（1）3歳未満児（情報機器及び教材の活用を含む）														
13 保育計画の立案（2）3歳～5歳児														
14 模擬保育の実施と相互評価（2）3歳～5歳児（情報機器及び教材の活用を含む）														
15 領域「人間関係」と幼稚園教育において育みたい資質・能力 ～「10の姿」との関連～														
ラ イ ク ニ テ ン シ ブ	A:知識の定着・確認		○・実践事例に基づく授業内では、教員の「問い」に対し、自己ならびに			工 夫 そ の 他 の	・保育計画の立案及び模擬保育の実施においては、ねらい及び内容、教師の援助を関連づけて考えさせる機会を設けることで理論との統合を図る。							
	B:意見の表現・交換		○グループで検討し、発表する機会を積極的に設ける。											
	C:応用志向		○・模擬保育における教員による講評ならびに受講生同士の相互評価に基											
	D:知識の活用・創造		づく、自己ならびにグループにおける振り返りを重視する。											
授業時間外 学修の内容 と想定時間	準備学修		保育観察に関する発表や模擬保育の準備をする（15h）。日常的に幼児の発達や保育・教育に関する事象に触れるよう新聞記事（ネットニュース含む）や雑誌などを読んでおく（7.5h）。											
	事後学修		授業内で配布された資料や作成したワークシート（毎授業作成）を読み返し復習する（15h）。グループ発表の際に指摘された事項について、グループで協議し、「自分たちならばどうするのか」といった主体的な観点で問題を考え、回答をまとめる（7.5h）。											
	想定時間合計		45											
教科書	特になし（教員作成の資料を配布する）													
参考書	・文部科学省・厚生労働省・内閣府『平成29年告示 幼稚園教育要領 保育所保育指針 幼保連携型認定こども園教育・保育要領 原本』チャイルド本社（2017年）ISBN：978-4805402580 ・文部科学省『幼稚園教育要領解説<平成30年3月>』フレーベル館（2018年）ISBN：978-4577814475 ・咲間まり子編著『保育実践を学ぶ保育内容「人間関係」[第2版]』みらい（2018年）ISBN：978-4860154370													

成績評価の方法及び評価割合	評価方法		割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10
	小テスト		10%	○									
	個別小レポート		20%	○	○								
	授業及び保育場面の観察などのグループ活動への取り組み状況		10%				○						
	保育計画の立案と模擬保育の実施		30%			○							
	学期末課題レポート		30%		○	○	○						
注意事項													
備考													
リンク													
	URL												